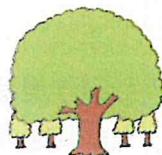




vol. 17



コラボレーション・シナジー

平成25年 5月

~いっしょに成長 地域と学校~



まずは…

って何



三谷小学校学校支援・地域共生本部“さんこら”が年に3回程発行している地域の方、地域団体、保護者に向けた広報紙です。“さんこら”的活動内容などをお知らせいたします。

支援本部って何かしら?

杉並区では23年度から全ての小学校に支援本部という組織(三谷小では保護者OB・OGで主に構成されています)ができました。三谷小学校ではいち早く6年前(平成19年11月)より学校支援・地域共生本部(愛称“さんこら”)を立ち上げました。学校より依頼を受け、様々なサポートを行っています。主な活動の一つとして、先生に代わり、地域、保護者の方にご協力のお願いをし、とりまとめるという事をしています。地域の方、保護者、卒業生、保護者OB・OGの皆さんが支援本部の一員になります。

新副校長 内田美津子先生 ご紹介



永福南小から異動してまいりました内田美津子です。区内でも歴史のある学校支援・地域共生本部に携わる皆様には、年度当初からお世話になり感謝申し上げます。

学校運営協議会、学校支援・地域共生本部、家庭、学校の連携を密にして、地域の方とともに、三谷小学校の子供たちを育てていきたいと存じます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

三谷小へようこそ!



三谷小に支援本部が立ち上がって、早6年目が経ちました。地域の皆さんや保護者の方々と力を合わせて、三谷小を「幸度No.1」の学校にしていきたいと思います。

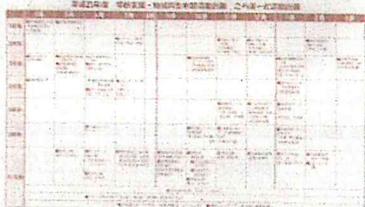
今年度も
ご協力のほど、
よろしくお願
いいたします。



学校支援・地域共生本部
本部長 植松 威博

25年度活動予定

今年度も朝遊び見守り隊、夏休み〇付け隊、ラジオ体操、伝承遊びの他、1年生 給食お手伝い、交通安全教室見守り、2年生 カセ算九九、ケチャップ作り、3年生 習字、自転車教室、お年寄り体験、4年生 障害者体験、5年生 ミシンお手伝い、6年生 ハローワーク(職場体験)などがあります。詳しくは三谷小学校のカレンダー『さんやごよみ』をご覧ください。



24年度の活動より

平成24年度は地域の方々、町会の方、近隣中学・高等学校・施設、保護者の方々のご協力により、新しい試みもありました。ここでは4年生の『やさしさいっぱい授業』に支援していただいた様子をご報告します。

障害者車椅子アスリートのお話 1月5日



障害者車椅子スポーツアスリートの島幸恵さんのお話と、競技デモンストレーション

普段の生活や競技についてお話を聞きしました。「出来る事は自分でやる」の言葉通り、工夫を凝らした日常生活の話に子どもたちは興味津々、沢山の質問をしていました。競技のスラロームを実際に見せていただき、子どもたちもスラローム体験をしました。

目の不自由な方の授業 6月14日



視覚障害者、河相富貴子さんの包丁実演

普段は自炊もされているとの事で、子供たちの前で野菜を手際良く切って見せてくださいました。

お話を聞く事で、目の不自由な方への接し方など、沢山の事を学ぶ事ができました。

車椅子とアイマスク体験授業 1月12日



上井草園介護士の菊地伸二郎さん

地域の方にご協力いただき、車椅子20台を運び入れ、子どもがペアになって車椅子体験をしました。車椅子で段差を乗り越えたり、少しの坂を下ったりし、日常では考えられない位の小さな段差でも車椅子の方にとっては大変な事だと知る事ができました。実際に乗ってわかった事をいつか役立てて欲しいです。

1月12日



ペアになり、1人がアイマスクを付けて目が見えない状態を体験、もう1人が介助、見守りをしました。相手の立場に立つ大切さを学び、やさしい声掛けができるようになりました。

アイマスクを付けて目の前が真っ暗で1歩前に出るのも怖かった。お友達が手を引いてくれて安心したし、声をかけてくれる事がとてもうれしかった。(児童感想より)

高齢者疑似体験授業「年をとるって、どんなこと?」 3月6日



装具を付けて、関節が曲がらない方の歩行体験を行いました。真っ直ぐに伸びない腰が辛い事、視野が狭くて見えづらいなど、お年寄りの不便さを体験しました。子どもたちが外でお年寄りの気持ちに近づいてお手伝いができる様になって欲しいです。

装具を付けて、白内障、耳が遠い、関節が曲がらない体験をしました。



地域包括支援センターケア24上井草より
藤山邦子さん、福田美紀さん、辰尾博子さん